

事業番号	374
------	-----

**平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》**

事業の概要	事務事業名	中部公民館施設整備事業						担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	生涯学習課			
	事業期間	平成22年度			～	平成23年度		担当係	社会教育係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		2 住民の主体的な活動を支援する					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	3	中	2	
	根拠法令・個別計画											
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="radio"/>	一部又は全部委託		
			指定管理・外郭団体			名称:						
			NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	中部公民館の施設整備を円滑に行い、安全で快適に利用できる施設とする。											
内容 (手段)	H22年度については、中部公民館の施設改修工事なし。 テレビ電波障害の共聴ケーブルを中電柱に共架しているため、道路工事や家屋工事による移設工事に対処する。移設工事を発注。											
受益者負担	無	内容										

			単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
	コスト	直接経費		千円	0	105	300
費用		正職員	従事者数	人	0.00	0.01	0.01
			人件費	千円	0	53	53
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	
費用合計		千円	0	158	353		
対前年比		%		#DIV/0!			
財源	一般財源		千円	0	110	214	
	国・県支出金		千円	0	0	0	
	その他財源		千円	0	48	139	

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		共聴ケーブル移設工事件数	件	目標	—	—	—
				実績	0	1	
				目標			
				実績			
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		共聴ケーブル移設工事件数	件	目標	—	—	—
				実績	0	1	
			目標				
			実績				

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	中部公民館の施設整備を円滑に行った。		
	事業を廃止・休止したときの影響	中部公民館の施設老朽化に伴う改修工事や道路工事、家屋工事による共聴ケーブル移設工事に対処できず、中部公民館の安全な利用に支障をきたす。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	中部公民館の施設整備を円滑に行うため、老朽化する施設に対処した工事を行うことは不可欠であるため。		
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	施設の老朽化が進んでおり、空調設備やエレベーター機械の更新など大規模な施設の改修計画を検討する。また、プラネタリウムの今後のあり方や更新する場合の方法を検討する。 また、地デジ化による共聴ケーブル移設工事は不要になる見込みである。		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		